

2/1 **自主防災組織役員に女性を女性の視点を入れた防災講演会**

市は、男女共同参画推進事業の一環として『女性の視点を入れた防災』をテーマに防災講演会を開催。会場はあやめ会館には、区長や女性団体ら約90人が出席しました。

講師は、県ふじのくに防災士の染谷絹代さん（島田市）が務め、東日本大震災の避難所の実態などを紹介し、「自主防災組織の役員に女性を入れてほしい」と呼びかけました。

また、近い将来必ず発生するといわれている東海地震について、そのメカニズムや発生する根拠などを解説。伊豆の国市の被害想定も、家屋の倒壊予想件数や液化化エリアなど、具体的に紹介しました。



防災にも女性の力が必要と説く講師の染谷さん



年男たちがまく豆を必死に拾う来訪者

2/3 **声高らかに「福は内」 広瀬神社節分祭**

節分のこの日、田京の広瀬神社で恒例となる節分祭が行われました。冬の厳しい冷え込みにもかかわらず、境内は今年一年の幸せをつかもうと豆に手を伸ばす人たちの熱気に包まれました。

1年の除災招福を祈願する神事後、今年36歳から84歳までの年男19人と、望月市長ら来賓が登場。太鼓の音を合図に「鬼は外、福は内」と大きな声を張り上げ、福豆やミカン、お餅などをまきました。

用意された3,600袋の豆は10分ほどで終了。訪れた約400人の市民からは、持参した袋に拾った豆などを入れ笑顔を見せていました。

2/3 **感謝の気持ちの花に込め 特別支援学校生徒が市へお礼**

市役所庁舎の一部を使用したお礼として、沼津特別支援学校伊豆田分校の生徒がパンジーの花を望月市長へ贈りました。

同校の生徒は、田方農業高校と共同で小坂地区にあるブドウ畑で栽培を実習。その際、制服から作業服に着替えるため市役所庁舎の一部を使用しました。この日はそのお礼として、プランターやポットに植えられた約50株のパンジーを市へ贈呈。見事に咲いたパンジーは、田方農業高校の生徒指導の下、種から栽培されたものです。

パンジーは、伊豆長岡・大仁庁舎入口に飾られ、来庁者を迎えます。



種から育てたパンジーを市長へ贈る生徒



寒さにも負けず、市内を力走する選手たち

2/5 **古奈・堀之上Aが5連覇 第7回伊豆の国市駅伝大会**

冬の厳しい寒さの下、第7回伊豆の国市駅伝大会を開催しました。大仁市民会館をスタート・ゴールに、汗のしみ込んだ「たすき」を握りしめ、全8区間、20.62kmを5部門59チームが走り抜きました。

総合優勝は、伊豆中央高校野球部A。地区の部では古奈・堀之上Aチームが5連覇を達成しました。

各部門の優勝は次の通り。

【一般の部】①伊豆中央高校野球部A
【地区の部】①古奈・堀之上A
【中学男子の部】①葦山中男子
【中学女子の部】①葦山中女子
【小学生の部】①葦山走ろう会A

応援ありがとうございました

1/21、22

富士山型パンオブジェがお出迎え 第6回パン祖のパン祭り

日本のパン製造の開祖とされる江川坦庵公にちなんだイベント『第6回パン祖のパン祭り』を葦山時代劇場で開催しました。

同イベントの目玉行事である『全国高校生パンコンテスト』では、応募173人、予選通過18人の中から、石黒茉莉さん（静岡農業高校）の作品『トマかんパン』が大賞に輝きました。

そのほか会場では、全国各地の人気パンの販売や、親子パン教室など多彩なイベントが繰り広げられました。また、田方農業高校生が制作した富士山型のパンのオブジェも来場者を魅きつけていました。



①今年のイベントの顔『富士山型パンオブジェ』 ②真剣に調理する高校生、目を光らせる審査員 ③優勝作品『トマかんパン』 ④ボランティアスタッフの高校生もパンの販売をお手伝い



伊豆長岡の歴史について講演する望月市長

1/15 **市長が語る郷土の歴史 友好都市交流協会 歴史講座**

伊豆の国市友好都市交流協会（江間章会長）は、郷土愛、文化愛を育むことを目的に、初めてとなる歴史講座をあやめ会館で開催しました。講師には歴史愛好家として知られる望月市長が務め、伊豆長岡地区の歴史について学びました。

市長は「他市と交流するうえでは地元の歴史を知ることが大事」と述べ、姉妹都市である京都府長岡京市との関係や伊豆長岡の地名の由来、史跡などについて解説。出席した約50人の市民は、市長の話に真剣に耳を傾けていました。

同協会は、今後も歴史講座を継続していきたいと意欲を見せていました。



さまざまな形のまゆ玉に魅了される芸者衆

1/23 **復活から今年で10年目 『まゆ玉の里』開幕**

伊豆長岡地区の養蚕産業の名残を今に伝える『まゆ玉の里』が、長岡の旅館「福狸亭小川家」で始まりました。同地区では、1965年ごろまで養蚕が盛んに行われており、家内安全を願ったまゆ玉作りも行われていました。この風習を観光振興に生かそうと伊豆長岡まゆ玉の会（小沢みゆき代表）がまゆ玉の里を開催。今年で復活から10年目を迎えました。会場には、まゆ玉の団子や招き猫などさまざまな飾りがついた竹35本が展示され、初日のこの日は、伊豆長岡温泉の芸者衆らが足を運びました。まゆ玉の里は入場無料、3月10日（土）まで開催されます。